

山の資源を活用したエコツーリズムの促進事業の取組を紹介します。(平成26年度~27年度実施)

事業の背景

- 新市域における県と市の共通課題等について情報共有を図り、県の支援を得ながら課題解決や地域資源を生かした新たな魅力創出に向けた取り組みを進めています。
- 課題解決にあたり、新市域の複数地域と隣接自治体が連携することで、より大きな効果が見込まれるものについて、その取り組みを促進することにより、地域の活性化に繋がることをねらいにしています。

事業の目的

鳥取市南部エリア（河原・用瀬・佐治地域）と智頭町との連携により、河原地域のスカイスports、用瀬地域から智頭町の山岳トレイル、佐治地域の山王谷エリアの自然体験、智頭町の森林セラピーなど多様な体験メニューをまとめて発信し、エコツーリズム愛好家等の誘客を図る取組を関係者の皆さんと進めています。



平成 27 年度の取組内容

- モニターツアーの実施
- 体験メニューパンフレットの作成
- SNS による情報発信 等



平成 26 年度の取組内容

- 用瀬山系の現地視察の実施

1 用瀬町 三角山 現地視察の記録

■ 日 時 平成 26 年 6 月 4 日 (水) 9:00~13:00

■ コース 三角山→景石城跡



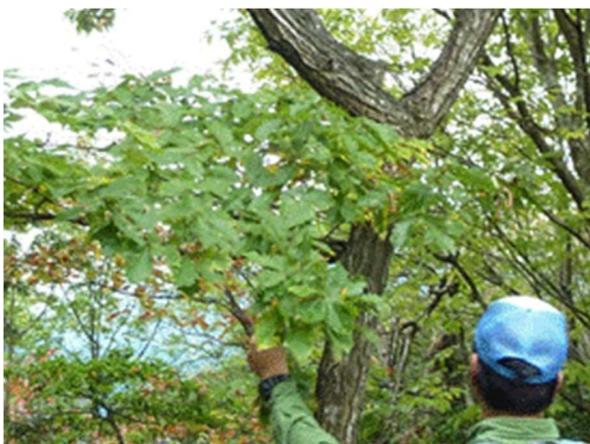
2 用瀬山系 現状視察の記録

- 日 時 平成 26 年 6 月 25 日 (水) 7:00~14:30
- コース 景石城跡→三角山→おおなる山→洗足山展望台→
洗足山 1 等三角点→洗足山→鳥居野登山口



3 用瀬山系 植生調査の実施

- 期 日 平成 26 年 10 月 20 日 (月)
- コース 三角山からおおなる山までの往復コース
- 期 日 平成 26 年 10 月 21 日 (火)
- コース 金屋登山口からおおなる山までの往復コース
- 期 日 平成 26 年 10 月 31 日 (金)
- コース 赤波おう穴登山口から鳥居野登山口



4 洗足山 雪山登山の記録

■ 期 日 平成27年1月3日(土)



山の資源を活用したエコツーリズムの促進(鳥取市南部エリアと智頭町)

鳥取市用瀬山系
平成27年5月25日撮影



鳥取市は、鳥取市南部エリア(河原・用瀬・佐治地域)と智頭町との連携により、河原地域のスカイスポーツ、用瀬地域から智頭町の山岳トレイル、佐治地域の山王谷エリアの自然体験、智頭町の森林セラピーなど多様な体験メニューをまとめて発信し、エコツーリズム愛好家等の誘客を図る取組を関係者の皆さんと進めているところです。

用瀬町 三角山 現地視察の記録

■日時 平成26年6月4日(水) 9:00~13:00

■コース

用瀬町総合支所 → 三角山(508m) → 景石城跡
→ 用瀬町総合支所



さあ、出発します。



用瀬町総合支所からすぐ近くに山道案内板

三角山女人堂

以前、女子は入山禁止でした。今は私も登れますね。





登山の安全祈願をして登りましょう。

登いがいのある岩肌です。



道標は見逃さないようにね。



508m の山なのに結構面白い





山頂に 三角山神社

三角山神社山頂(奥宮)本殿

(海拔508m)

この社の創建は不明なれども、口伝では因幡の国可こくし
「在原行平ありはらゆきひら」この社に参拝し「ゆくさきをみすみのやま
を…」と詠んだと云われていることから、西暦800年以
前とも考えられる。幾多の災害により消失するも寛永3
年(1626)に再建され、宝永3年(1706)の棟札が確認され
ている。

祭神は「猿田彦大神さるだひこ」で峯鋸大権現ミネノコと言われ、藩政時
代から「峯鋸さん」「権現さん」「お山さん」と親しまれ、
近郷の人々に厚く信仰されてきた。出征時には「武運長
久」を祈り、多くは「病氣治癒」を祈願し、祈願成就の証
しとして山頂へ石を手向けた。これを「方石」と呼び、そ
の風習は今も引継がれている。山頂社殿の周りには、そ
の昔より、影石、重石、富士石、天狗石、万灯石と名付け
られた5個の巨石があり、今に伝わる民話「用瀬の峯鋸
坊」「山守の蝶の群れ」「鼻たけの話」など、その昔、霊山
霊場であり、修験者達の修行の場でもあったことが伺
われる。

「三角山」別名「頭巾山」とも呼ばれている。

山頂からの眺め、眼下に用瀬の町



やっぱり山はいいですよ。



心地よい疲れです。



A group of hikers is seen from behind, walking along a dirt path in a dense forest. The path is covered with fallen leaves and branches. On the right side of the path, a large, moss-covered rock is partially covered by a thick, gnarled tree root system. The forest is lush with green foliage, and the sky is visible through the canopy. The overall scene is a peaceful outdoor hiking environment.

さあ、次を目指しましょう。

落ち葉に足を取られないように、用心です。



景石城址まで700M



子持ち松砦跡

こもちまつ
子持ち松の名称は小字名に由来し、地元の人々は「子持ち松さん」と呼んでいる。

- かげいし景石城本丸から南に400m、かげいし景石城と同じ標高にあり、くるわ曲輪(10×17m)をはじめ、ほりま堀切り、堅堀等、砦としての入念な工作が施されている。

かげいし景石城、いそべ磯部城主館と三角形に位置しており、かげいし景石城を守る重要な拠点であったと考えられる。

平成22年11月
尾道市文化財課

振り返って観る景観の素晴らしさ



地元の皆さんの管理で
とても歩きやすい山道です。



これが三角点です。





環境の良い東屋で休憩です。

A panoramic view of a valley with a town and mountains. The foreground is filled with dense green trees. In the middle ground, a town with many buildings is visible, situated in a valley. The background shows a range of mountains under a clear sky. The text is overlaid on the lower part of the image.

晴天の日は遠くの山並みも良く見えます。

史跡 景石城址

史跡 景石城址



ここにお城があったんですねえ、
悠久の歴史に浸りました。





物見櫓の跡

物見櫓(三の丸)跡



気を付けて下山しましょう。



用瀬山系 現地視察の記録

■日時 平成26年6月25日(水)

7:00~4:30

■コース 用瀬町総合支所 → 景石城跡 →
三角山(508m) → おおなる山(648m) → 洗足山
展望台(昼食) → 洗足山(1等三角点736.3m)
→ 洗足山(743m) → 鳥居野 → 用瀬町総合
支所

景石城跡へのルートから登ります。



今日は大勢で登りました。



目指せ本丸跡へ

山頂本丸跡
←



今日も快晴でした。



おおなる山へ





洗足山へ



洗足山山頂





展望台に到着です。昼食にしましょう。

かない登ってきました。ころがらないように。



道標です。

金屋-洗足山

展望台



山頂に到着しました。

洗足山 736.3m



















洗足山 — 鷹尾野

かない下いてきました。



洗足山登山道入り口

ご安全に登山
楽しんでください

鳥居野村一同

千足山登山道



動物が侵入します
閉めてください

登山届は必ずお願いします。



平成27年1月3日

用瀬町洗足山 雪山登山の記録

■コース

社地区公民館 → 金屋 → 洗足山(1等三角点736.3m)
→ 洗足山(743m) → 鳥居野 → 社地区公民館



今年の登り初めです。



さあ、準備はよろしいでしょうか。



滑らないように。



熊は冬眠中でしょう。







景色は最高です。



雪山登山らしくないました。



雪山登山ならではの撮影。





携帯は繋がりますから、安心です。



洗足山山頂







町並みが見えてきました。
名残惜しそうです。



お帰りなさい。

